

# アジア太平洋作業療法学会を通してみる WFOT 大会 2014

WFOT 大会 2014 実行委員長・副大会長  
京都大学大学院、作業療法士

山根 寛



## 羽田発深夜便

2011年(平成23年)11月20日0:20羽田発深夜便TG661に乗ることがわかったのが2日前の夕方。19日22:30、強まる風雨を縫ってモノレールが夜の羽田空港新国際線旅客ターミナルに着いた。チェックインを終えてボーディングパスを受け取る。預けるトランクを載せた計りの数値が23.5を指す。重量オーバーだ。チェンマイで開催される第5回アジア太平洋作業療法学会(The 5<sup>th</sup> Asia Pacific Occupational Therapy Congress: 5<sup>th</sup> APOTC)で行う、16<sup>th</sup> WFOT 大会 2014(The 16<sup>th</sup> International Congress of the World Federation of Occupational Therapists in collaboration with the 48<sup>th</sup> Japanese Occupational Therapy Congress and Expo)のプレゼン資料が重量オーバーの原因。なんとか見逃してもらい、出国手続きを済ませるが、待つこと2時間あまり。低気圧による悪天候のせいらしい。深夜の空にTG661が飛び立ったのは、出発予定時刻より約1時間半遅れの1:50。バンコクでTG100に乗り換え、大会が行われるチェンマイ国際空港には20日8:10着の予定。やっと離陸した機内の夜食でおにぎりが配られ顔がほころぶが、タイ米のおにぎりは米粒が口の中でゴワゴワボロボロ。



## 冬の日本から夏のチェンマイへ

バンコクの乗り換えターミナルで、第16回WFOT 大会 2014 副大会長の Marilyn Pattison  
OT ジャーナル 46(4): 342-344, 2012

WFOT 事務局長と再会。送迎バスで会場のあるホテルに着いたのが10:30(日本時間8:30)。日本との時差2時間、気温差20数℃。まるで冬から夏、気温30℃、抜けるような青い空とランチのトムヤンクンとパイナップル・ココナッツミルク入りチキンサラダで、心身ともにタイバージョンに切り替わる。さっそく持参したプレゼングッズでブースの準備。図1はプレゼンブース前に集まったチェンマイ大学のOT学生。今回のAPOTCではチェンマイ大学のOT学生が受付からセレモニーのアトラクションまで全面的に活躍していた。



## 5<sup>th</sup> APOTC

APOTCは、1965年(昭和40年)以降、4年おきにアジア太平洋諸国間で順番に開催されているOTの学術大会。マレーシア、台湾、シンガポール、香港に続いて5回目に当たり、今回はタイのチェンマイで行われた。11月19日の教育シンポジウム、20日のプレングレスワークショップと21~24日の本大会からなり、600~700人規模が想定されていた。バンコクの洪水の影響で450名あまりの参加となったが、プレングレスワークショップではエレファントセラピー等タイならではの多彩なプログラムと、1日に2回フルーツや焼き菓子が出るコーヒープレイクにピュッフエスタイルのランチがあり、和やかに賑わっていた。

“Opening World: Optimizing Occupational Therapy Practice”をテーマに、根拠にもとづく作業療法、評価、認知リハ、手のリハ、災害支援、



図1 プレゼンブース前でチェンマイ大学 OT 学生と

地域作業療法から精神障害、発達障害、身体障害に対する作業療法等、広範囲なキーワードのもとに演題が募集された。プログラムや抄録集に発表者や抄録が抜け落ちていたり、かなりアバウトなところがあり、正確ではないが、プログラム上では108題の口述発表、151題のポスター発表があった。韓国や香港、中国の参加者がほとんどみられなかったが、台湾、マレーシア、シンガポール、フィリピン、ラオス、オーストラリア、ニュージーランド、イラン、インド、トルコやイスラエル、クウェート、バングラデシュ等に加え、キルギス、英国、スウェーデン、カナダや米国、メキシコ、ポルトガルからも参加する等、小規模ながらも国際色豊かな交流の場となっていた。次回はニュージーランドに決定。

## プレゼンと国際交流

21～24日の本大会中、日本から持参したピンバッジやリーフレット、横浜の“はっぴ手ぬぐい”等も人気であったが、ブースでは折り紙が人気で、鶴やくす玉等の折り紙教室のような風景、くす玉の中にチョコレートを入れてプレゼントする等、日本らしさをアピール。

今回のバンコクの洪水に対し持参した日本作業療法士協会（以下 OT 協会）からの見舞い状と義援金は、ウェルカムパーティーでタイ作業療法士協会 Somsak Kanaprasertkul 会長に贈呈する場



図2 WFOT 大会 2014 両副大会長  
(真ん中はリンケージ大会事務局担当、両脇は OT 学生)

が設けられた。また、トルコからの参加者があったため、急遽プレゼンブースにトルコの地震募金箱を設け、集まった約440ドルの寄付を閉会式のプレナリーセッション前にトルコの代表に OT 協会と APOTC 大会長から贈呈する等、公式非公式を問わずさまざまな交流がもたれた。

今回の APOTC では、日本からの発表が口述の14%、ポスターの40%を占め、100人以上の日本の OT が参加していたが、個人的なものであり、協会としての組織的な大会への関与が少なく、アジア・太平洋諸国との交流のありようが問われる。

## 16<sup>th</sup> WFOT 大会 2014 の感觸

今大会では、日本や WFOT 大会 2014 に対する近隣諸国の認識と今後の方針に向けての課題を探るため、Team Japan 事務局でゲーム形式のアンケートを行った。日本の首都、OT 数、OT 協会の発足年、WFOT 大会 2014 参加希望、WFOT 大会 2014 で希望するプログラムやセッション等に関するものであるが、100件を超える回答があった。日本の OT を除く参加者の約1/3がアンケートに答えたことになる。回答者の90%以上が参加したいと述べ、関心の高さを示しながら、日本の作業療法事情に関しては十分な情報がないということが明らかになった。

WFOT 大会 2014 で希望するプログラムやセッションに関する回答から、キーワードをピック

アップしたら、「日本の作業療法、アジアの視点、作業療法の可能性、費用対効果、メンタルヘルス、テクノロジー、小児、高齢者、心身の関係、認知リハ、職リハ、自然災害と作業療法、手のリハ、コミュニティと作業療法」等が挙げられた。また、参加経費に対する補助やランチの有無等の質問が多かった。アジア近隣諸国の平均月収が2~5万

円ということからすれば、参加はしたいが費用は深刻な問題といえる。

大会中に WFOT 側の副大会長(図 2)との学術プログラムに関するミーティングも終え、確かな感触と大きな努力課題を抱えて、25日チェンマイ 19:25 発 TG117、バンコク経由 TG640 で 26日早朝(06:15)成田着。日本は冬だった。

## 『作業療法ジャーナル』既刊案内

(◇は品切れ)

### 第 43 巻 【特 集】

- 第 1 号 見た目を大切にする作業療法
- 第 2 号 広汎性発達障害の作業療法実践!
- 第 3 号 臨床実習を問う
- 第 4 号 作業療法における神経リハビリテーション最前線
- 第 5 号 知的障害の作業療法
- 第 6 号 精神科デイケアのあり方を考える—作業療法の役割と効果
- 第 7 号 (増刊号) 働くことの意義と支援
- 第 8 号 呼吸器・循環器疾患に対する作業療法
- 第 9 号 うつ病のリハビリテーション
- 第 10 号 中心性頸髄損傷へのアプローチ
- 第 11 号 学校へ行こう!—その場で生かせる OT の視点
- 第 12 号 神経筋疾患の作業療法
- 第 13 号 住み慣れた地域で安心・安全に生活していけるための高齢者支援

### 第 44 巻 【特 集】

- 第 1 号 地域生活支援ネットワークの構築—OT の働きどころ
- 第 2 号 がんの作業療法—「生活を支援するため」に OT ができること
- 第 3 号 自閉症スペクトラムの作業療法の成果—共生と自立
- 第 4 号 作業療法のための最新脳科学入門
- 第 5 号 認知症作業療法の最前線
- 第 6 号 世界の中の日本の作業療法
- 第 7 号 (増刊号)「共に生きる」ための作業療法—恋愛・結婚・出産・育児・性の支援
- 第 8 号 内部障害に対して作業療法は何ができるのか?

※在庫の最新情報は弊社ホームページでご確認下さい。

- 第 9 号 リンパ浮腫に対する作業療法—上肢リンパ浮腫を中心に
  - 第 10 号 高次脳機能障害 在宅期のリハビリテーション
  - 第 11 号 精神科作業療法のこれまで、そしてこれから
  - 第 12 号 糖尿病(合併症)をもつ人への作業療法
  - 第 13 号 訪問リハビリテーションをシミュレートする—地域での暮らしを支える資源として
- ### 第 45 巻 【特 集】
- 第 1 号 心身への評価とアプローチ—感情と情動に対する作業療法
  - 第 2 号 作業療法における「連携」を考える
  - 第 3 号 脳卒中の作業療法—OT が見逃してはいけないポイント
  - 第 4 号 臨床実習再考
  - 第 5 号 OT が取り組むうつ病
  - 第 6 号 地域包括ケアにおける OT の責任
  - 第 7 号 (増刊号) 作業療法と脳科学
  - 第 8 号 がんの作業療法—疾患別アプローチと終末期・緩和ケアまで
  - 第 9 号 今求められる関節リウマチの作業療法—新しいステージ・スタイルへ
  - 第 10 号 脳性麻痺への作業療法—新生児(NICU)から高齢者までの関わり
  - 第 11 号 家族を理解すること 支えること
  - 第 12 号 訪問リハビリテーションの「人材育成」
  - 第 13 号 精神障害者が身体障害を合併したとき—OT は何ができるか?

### 第 46 巻 【特 集】

- 第 1 号 実践! 循環器作業療法
- 第 2 号 豊かな老いを支援する
- 第 3 号 災害時に OT は何をしたのか? 何をすべきか?